

交野市教委ニュース

第60号 (平成29年4月27日発行)

「プログラミング教育」に向けて

次期学習指導要領の中で、プログラミング的思考の育成があげられています。本市でも、「新たな学び」としてプログラミング教育に取り組むことで、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力の育成を図りたいと考えています。その方法の一つとして、また、プログラミングの入り口として、市教委では、小中学生を対象に「LEGO レゴ®マインドストーム®EV3を活用したプログラミング」の授業支援を行います。

4月25日には、教頭・小中一貫担当教員等対象の研修会を、ロボットプログラミング教室「プログラボ」から講師を招いて行いました。ロボットを動かすことが最終目的ではなく、「物事を抽象化して捉える能力」「やるべきことを順序立てて考える能力」「ベストの方法かどうかを分析する能力」等を育てられるよう取組みを進めます。

まず、タブレットを見ながら「火星探査機」の組み立てです。



初めてでも、上手く組み立てられました。



カスタマイズもできます。

プログラミングの説明を受けます。



プログラミング言語を用いるのではなく、小学生でもプログラミングできるように、タブレットでアイコンのようなブロックを組み合わせて、「火星探査機」に指示を出します。

コンピューターにミッションを与えます。「地球から月へ」「地球から月、そして火星へ」



さまざまな指示をプログラミングしながら、「探査機」が火星へ到着できるように工夫しました。子どもたちも、さまざまな発想をすることでしょう。